

調査報告書

〔2020年版ローラー系部品マーケット総覧〕

『要素技術で生き残る 部品業界の行方』

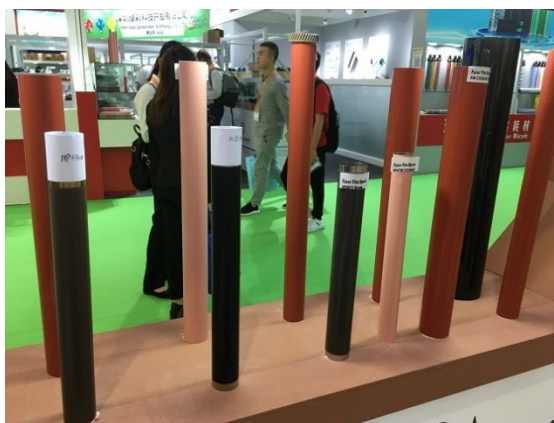
＝大手部品メーカーの撤退で加速する業界再編？＝



< MFPはデジタルトランスフォーメーション（DX）への対応が急務／キヤノンのimageRUNNER ADVANCE DX C5760F >



< 在宅勤務・在宅学習の拡大でローエンド機の需要が一時的に拡大／HP Neverstop Laser シリーズ >



< アフター市場ではA3MFP用定着ベルトの需要が拡大 >

2020年5月



日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

『要素技術で生き残る部品業界の行方』

＝大手部品メーカーの撤退で加速する業界再編？＝

II. 調査主旨

事務機業界が揺れている。富士ゼロックスと米・Xeroxは、これまでの長い間の技術契約を終了して2021年4月から別々の道歩く事に決定した。一方、米・Xeroxが仕掛けていたHP株のTOBは、結局、コロナショックにより断念に追い込まれたが、事務機市場の成熟化は加速しており、各社の生き残りをかけた事業再編の動きは今後も加速していく。

このハードメーカーの騒動をローラー系部品メーカーから見れば、供給先への生産量や今後の戦略立案にあたっての壁になっている。納入先が一気に変われば、部品メーカー同士の優勝劣敗はいよいよ鮮明になる。すでに、この騒動がなくとも、納入量が減少しても尚部品単価の低下への協力要請が続き、ますます薄利ビジネスに追い込まれている部品メーカーは、事業の存続か終了かを判断する局面に立っている。すでに某大手部品メーカーは、主力の納入メーカーに事業終了を伝えた。また、その他のメーカーも長年の売り上げ減少により、事業の統合や再編の話がいくつか浮上するようになっている。たとえ1社が辞めて、その分が生産増加になっても、将来は需要が下がる過程の一次的な増加に過ぎない。そこでは、設備投資はされず、現状の能力で対応するしかない。

中国部品メーカーの台頭という点では、日本の部品メーカーはコスト力で劣勢に立たされている。このままいくと、生き残るメーカーはさらに少なくなってしまう。中国では、「中国製の優先購買」の方針が出されたため、次々とプリンタメーカーが誕生しているが、ここで採用される日本の部品メーカーの占める割合は小さい。

しかし、だからと言って事務機の部品市場の全てが中国の部品企業に支配されるわけではない。業界の長年の発展は、ハードメーカーと部品メーカーの共同開発が支えてきた。今、部品業者は事業継続の岐路に立たされているが、日系部品メーカーは、「要素技術、製造技術、製品の品質」が優れており、最後にはこうした優秀な「技術力」に支えられたメーカーが残っていくし、必要とされていくだろう。

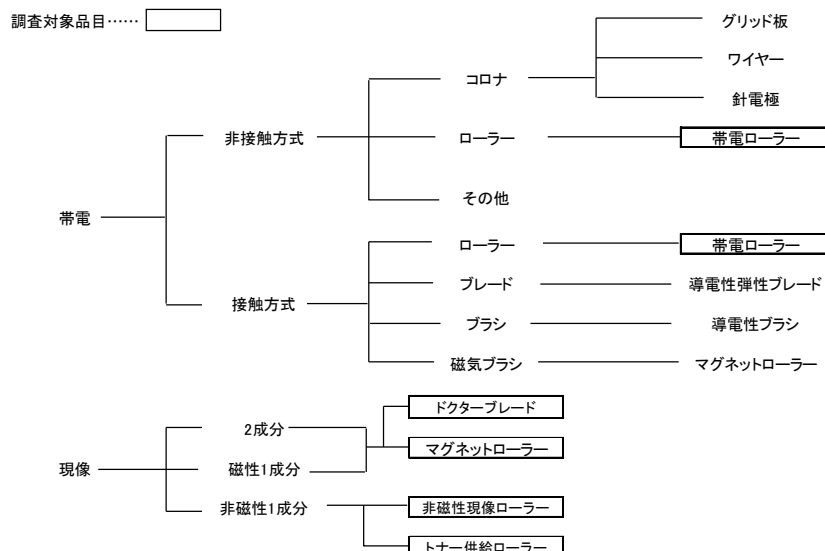
このような環境にあり、マグネットローラー、帯電ローラー、ヒートローラー、加圧ローラー、転写ローラー、中間転写ベルト、定着ベルト、給紙ローラー、搬送ローラーなどの専門業者及び内製メーカーの現状と今後の戦略や行方を調査・分析するものである。

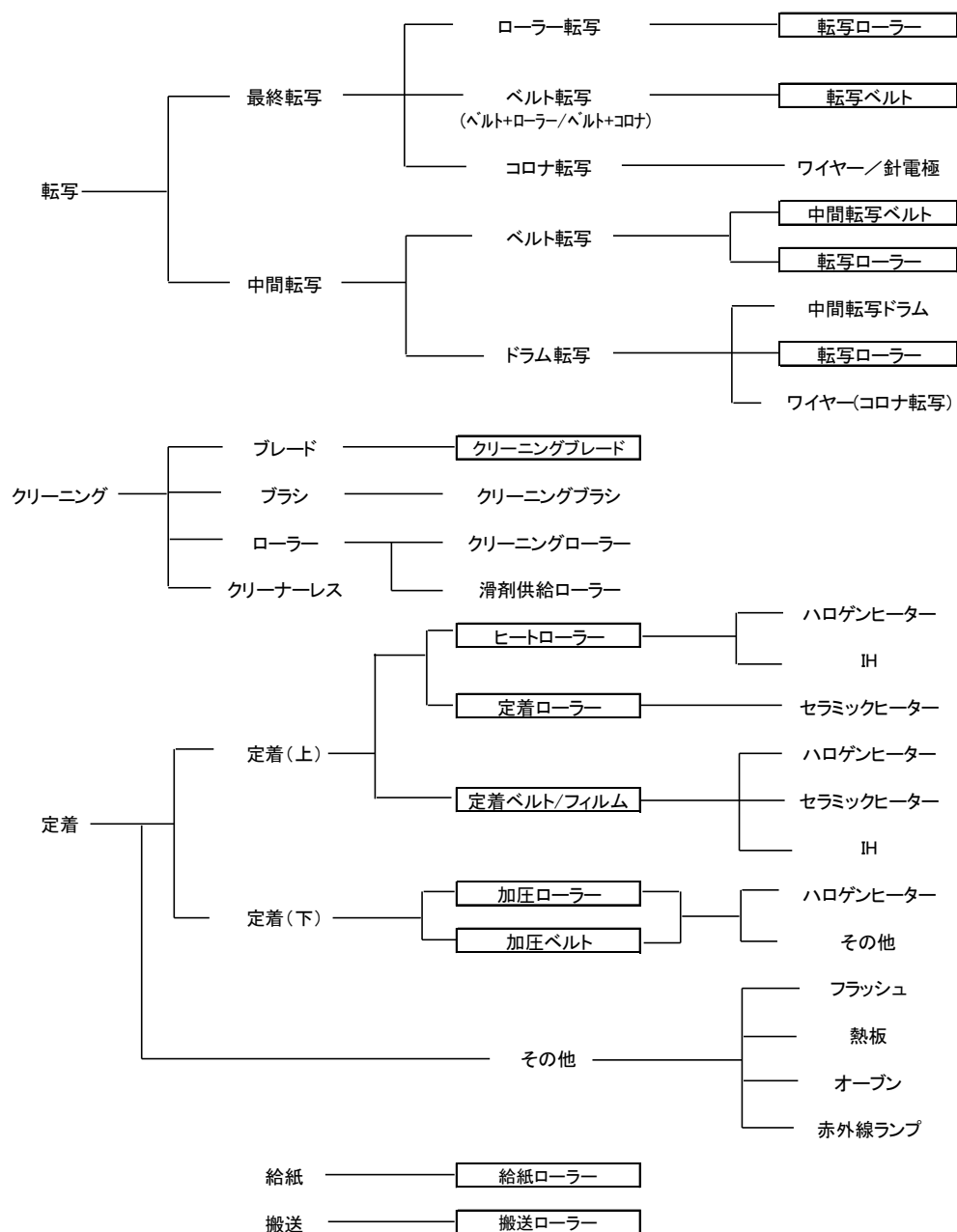
2020年版レポートは、15回目の刊行にあたり、他社にはない弊社のノウハウの詰まった内容となっています。このレポートが業界関係者にとって有益なるものであることを願います。

日系ローラー専門メーカー、中国・韓国系ローラーメーカー・内製メーカーを詳細分析

III. 調査対象品目と調査対象先

1. 調査対象品目





2. 調査対象先

- 2-1. ローラー専門メーカー：日本メーカー(32社)／韓国メーカー(10社)／中国メーカー(53社)／香港メーカー(1社)／台湾メーカー(2社)／その他(6社)／内製メーカー(6社) (合計 110社)
- 2-2. システムメーカー(主要 15社)：複写機メーカー／プリンタメーカー／FAX メーカー

IV. 調査範囲及び調査方法

- 1. 調査範囲：調査対象範囲は2017年～2023年とする。
- 2. 調査方法：1) 調査対象先メーカーへの直接訪問面接調査
2) 公開されている文献、資料、統計などの分析及び調査
3) 弊社に蓄積されているデータの活用

V. 調査形態、調査期間、他

- 1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
- 2. 調査期間：2020年3月～5月
- 3. 調査報告書刊行日：2020年5月26日
- 4. 提出報告書：A4判ワープロ製本
- 5. 価格：400,000円 (消費税別途)
- 6. 調査担当：山本 幸男／吉田 晃介／針生 正史
(TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、ホームページ：http://www.datasupply.jp/
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp)

《目次》

[調査結果の要旨]

A. 分析編	1
A-1. 機能性部品（主要13品目）の全体市場動向	1
1. 日本メーカー/海外メーカー別出荷動向（2017年～2023年）	
2. プロセス別出荷本数・出荷金額（2019年）	
3. ローラーメーカーの出荷金額シェア（2019年）	
A-2. 部品別市場動向	4
1. 出荷本数（2017年～2023年）	
2. 出荷金額（2017年～2023年）	
3. 用途別市場動向（2019年/2023年）	
4. サイズ別市場動向（2019年/2023年）	
5. 材料別市場動向（2019年/2023年）	
6. 部品別技術、材料動向	
7. 価格動向、寿命	
8. ユニット化への対応	
9. プロダクションプリンタと大判プリンタ用部材の出荷状況	
10. 部品別メーカー別生産拠点	
11. ローラー系部品の参入メーカー一覧	
12. システム別使用部品点数	
13. プロセス別メーカーの最新動向	23
13-1. メーカー別プロセス概要全体	
13-2. プロセス別メーカー動向	
13-3. 個別メーカー最新動向	
キヤノン/リコー/富士ゼロックス/コニカミノルタ/シャープ/東芝テック/ 京セラドキュメントソリューションズ/ブラザー工業/沖データ/村田機械/ HP Printing Korea/レックスマーク/米ゼロックス/Pantum/Lenovo/Deli	
A-3. ハードウェアの出荷動向	38
1. ハードウェアの方式別出荷台数（複写機/プリンタ/FAX）	38
2. 2019年のハードメーカー別方式別出荷台数	39
2-1. 複写機の出荷台数	
2-2. レーザー/LEDプリンタの出荷台数	
2-3. レーザー/LED FAXの出荷台数	
A-4. 中国及び東南アジア地域におけるシステムメーカー/部品メーカーの生産拠点	42
B. 部品別市場編	51
形状図と材料、製造工程、使用本数/メーカー別市場動向、技術動向、価格、供給関係、工場	
[1]帯電ローラー/[2]現像ローラー:[2]-1. 現像部合計/[2]-2. マグネットローラー/ [2]-3. 非磁性現像ローラー/[3]トナー供給ローラー/[4]転写ローラー/[5]中間転写ベルト /[6]定着ローラー/ベルト:[6]-1. 定着部合計/[6]-2. 加圧部合計/[6]-3. ヒートロー ラー/[6]-4. 定着ベルト/[6]-5. 加圧ローラー/[6]-6. 加圧ベルト/[7]クリーニング ブレード/[8]給紙ローラー/[9]搬送ローラー	
C. 個別メーカー編	179
C-1. 国内専業メーカー（50音順）	179
<共通調査項目>ローラー系部品の売り上げ高(複写機・LBP向け/ATM向け/インクジェットプ リントラ向け)/出荷本数・出荷金額（2017年～2023年予測）/用途別サイズ別出荷本数・ 出荷金額（2017年～2023年予測）/材料別出荷本数・出荷金額（2017年～2023 年予測）/技術及び材料の動向/価格動向・寿命/材料購入先/供給先一覧/国内外の生産拠点	
[1]I.S.T/[2]荒井製作所/[3]イノアック/[4]NOK/シンジーテック/[5]カネカ/ [6]錦城護謨/[7]金陽社/[8]グンゼ/[9]昭和電線ケーブルシステム/[10]信越ポリマー/ [11]住友ゴム工業/[12]住友電気工業/[13]住友理工/[14]TDK/[15]東邦ゴム工業/ [16]日星電気/[17]ニッタ化工品/[18]日東電工/[19]NEOMAXエンジニアリング/ [20]バンドー化学/[21]日立金属/[22]フコク/[23]ブリヂストン/[24]明治ゴム化成/[25]ヤマウチ	
C-2. 内製メーカー	616
[1]キヤノン/[2]リコー/[3]富士ゼロックス/[4]コニカミノルタ/[5]東芝テック/ [6]京セラドキュメントソリューションズ	
C-3. 海外専業メーカー	628
[1]Ah-Sung Chemical（韓国）/[2]Foshan Ascend Precision Accessories（中国）/ [3]Galaxia Device（韓国）/[4]Jahwa Electronics（韓国）/[5]Sang-A Frontec（韓国）/ [6]Shenzhen Fancy Creation Industrial（中国）/[7]Shenzhen LEPUTAI Technology（中国） /[8]Taejin Precision（韓国）	
C-4. その他メーカー	645
[1]日本メーカー/[2]海外メーカー	

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

分析編

5. 材料別出荷動向(2019年/2023年)

各調査対象のメーカー合計、単位:千本

		EPDM		ウレタン (ポリウレタン)		シリコン		NBR ベース	エポキシ 樹脂/シリコン ベース	PFA/ PTFE	その他	合計	
		ゴム	フォーム	ゴム	フォーム	ゴム	ゴム+ PFA						フォーム
		2019年	2023年 (予測)	2019年	2023年 (予測)	2019年	2023年 (予測)						2019年
帯電ローラー		26,000	0	14,300	0	0	0	0	24,000	0	0	64,300	
	%	40.4	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	37.3	0.0	0.0	100.0	
非磁性現像ローラー		0	0	14,180	0	29,100	0	0	0	0	0	43,280	
	%	0.0	0.0	22.0	0.0	45.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.3	
トナー供給ローラー		0	0	0	44,740	0	0	0	0	0	0	44,740	
	%	0.0	0.0	0.0	66.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.3	
転写ローラー		2,810	0	3,175	0	0	0	0	0	0	0	5,985	
	%	4.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	
ヒートローラー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,275	2,275	
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	3.5	
加圧ローラー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
クリーニングブレード		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
搬送ローラー		160,163	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160,163	
	%	248.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	248.7	

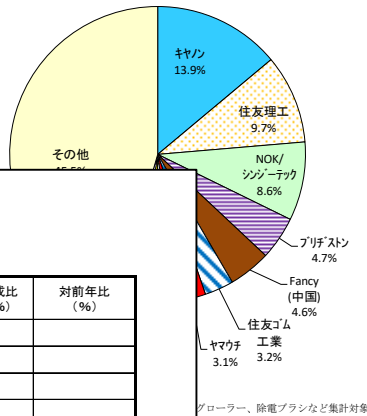
分析編

3. ローラーメーカーの出荷金額シェア (2019年)

1) 複写機・LBP 向け

単位:億円

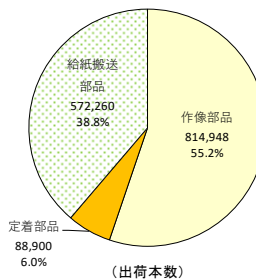
2019年	
	%
キヤノン	
住友理工	
NOK/シンジーテック	
ブリヂストン	
その他	



分析編

2. プロセス別出荷本数・出荷金額(2019年)

	部品名	出荷本数 (千本)	構成比 (%)	対前年比 (%)	出荷金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年比 (%)
作像部品	帯電ローラー						
	マグネットローラー						
	非磁性現像ローラー						
	トナー供給ローラー						
	転写ローラー						
定着部品	中間転写ベルト						
	クリーニングブレード						
	小計						
給紙搬送部品	ヒートローラー						
	定着ベルト						
	加圧ローラー						
	加圧ベルト						
	小計						
給紙搬送部品	給紙ローラー						
	搬送ローラー						
	小計						
	総合計						

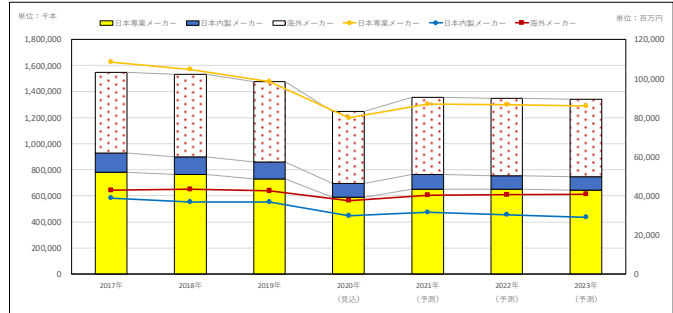


機能性部品のプロセス別構成比率をみると、出荷金額で67.7%といずれも過半数を占めないが、出荷金額は20.5%を占める。紙を絡めて11.8%となっている。
一般的に日本メーカーは技術力を要する付加価値の高い搬送ローラーなどに強み、純正品メーカーとして携わる企業が出てき

分析編

A. 分析編 A-1. 機能性部品(主要13品目)の全体市場動向 1. 日本メーカー/海外メーカー別出荷動向(2017年~2023年)

		2017年	2018年	2019年	2020年 (見込)	2021年 (予測)	2022年 (予測)	2023年 (予測)
		%	%	%	%	%	%	%
出荷本数 (千本)	専業メーカー							
	対前年比							
	内製メーカー							
	対前年比							
	日本メーカー合計							
	対前年比							
出荷金額 (百万円)	専業メーカー							
	対前年比							
	内製メーカー							
	対前年比							
	日本メーカー合計							
	対前年比							



※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

Shenzhen Fancy Creation Industrial

[6] Shenzhen Fancy Creation Industrial (中国)
1. 全体状況
1) 出荷本数 / 出荷金額の推移 (2017年～2023年)

年	2017年	2018年	2019年	2020年 (見込)	2021年 (予測)	2022年 (予測)	2023年 (予測)
出荷本数 (千本)	トナー供給ローラー						
	ヒートローラー						
	加圧ローラー						
	カーニングブレード						
	搬送ローラー						
対前年比							
出荷金額 (百万円)	トナー供給ローラー						
	ヒートローラー						
	加圧ローラー						
	カーニングブレード						
	搬送ローラー						
対前年比							

単位：千本

加圧ローラー

7. 供給先一覧

供給先	部品メーカー													
	荒井製作所	NOK / シンジーテック	キヤノン	金鷲社	昭和電線	ケーブルシステム	信越ポリマー	住友電気工業	東邦ゴム工業	日星電気	フコク	リコー※	FABRY	TAPELIN
PPC メーカー	キヤノン													
	リコー													
	富士ゼロックス													
	コニカミノルタ													
	シャープ													
	京セラドキュメントソリューションズ													
	東芝テック													

△…少量

[6]-2. 加圧部合計
出荷本数 / 出荷金額の推移 (2017年～2023年)

年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
出荷本数 (千本)	加圧ローラー						
	対前年比						
出荷金額 (百万円)	加圧ローラー						
	対前年比						

単位：千本

FANCYは1995年シャープの複写機向けに開発された、2000年代前半の製品開発向けに製品開発された。2000年代前半の製品開発向けに製品開発された。2000年代前半の製品開発向けに製品開発された。

分析編

[3] 現像

1) 全体概要
現像プロセスは、トナーのみを用いる「1成分方式」と、トナーとキャリアを用いる「2成分方式」に分けられる。1成分方式は「磁性1成分方式」と「非磁性1成分方式」の2種類がある。複写機は2成分方式、プリンタは1成分方式がそれぞれ主流である。

2) 方式別採用状況 (2020年5月現在)

メーカー	キヤノン	リコー	富士ゼロックス	コニカミノルタ	シャープ	東芝テック	京セラドキュメントソリューションズ	ブラザー工業	沖データ	村田機械	HP (HPPK)	レックスマーク
方式												
2成分	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
磁性1成分	○						○					
非磁性1成分	○	○						○	○	○	○	○

[4] 転写

[4]-1. モノクロ

1) 全体概要
感光体上のトナーを用紙に移動させる方式は、「コロナ転写方式」と「ローラー転写方式」に大別される。主流はローラー転写方式であるが、A3高速複写機では「コロナ転写」や「ベルト転写方式」も採用されている。また、一部メーカーのA3高速複写機ではモノクロ用だが中間転写ベルトも採用されている。

2) 方式別採用状況 (2020年5月現在)

メーカー	キヤノン	リコー	富士ゼロックス	コニカミノルタ	シャープ	東芝テック	京セラドキュメントソリューションズ	ブラザー工業	沖データ	村田機械	HP (HPPK)	レックスマーク
方式												
ローラー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベルト	※			○	○	※	※					
コア	○	○	○									

※：高速機で中間転写ベルトを採用。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（ 刊行日・価格の
変更があります ）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2020年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《 定期刊行物 》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英 年 月号より ヶ月/年	
《 2020年/2021年刊行予定物 》						
* 2020年版[感光体マーケット総覧] (292頁) 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥500,000	2/26	\$5,200	4/17 予定	日 英	
* 2020年版緊急レポート(コロナショックと業界大規模再編) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の 地域別メーカー別分析』(240頁)	¥300,000	4/24	\$3,000	6/30 予定	日 英	
* 2020年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥400,000	5/26	\$4,000	8/28 予定	日 英	
* 2020年版[トナーマーケット総覧] 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥600,000	7/28 予定	\$6,000	10/30 予定	日 英	
(新レポート) * 2020年版[MIFマーケット総覧] 『電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	9/28 予定	\$4,000	12/25 予定	日 英	
* 2020年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	11/26 予定	\$5,000	2021.2/26 予定	日 英	
* 2020年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 ¥350,000/ ¥350,000	12/23 予定	— —	—		
ニューレポート * 2021年版『出力機器関連機材ハンドブック』	¥200,000	2021.1/28 予定	—	—		
《 2019年刊行物 》						
* 2019年版[感光体マーケット総覧] (300頁) 『中国が日本を追い越す感光体業界の実情』	¥500,000	2/22	\$5,200	4/12	日 英	
* 2019年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (314頁) 『中国・アジアが牽引する産業用インクジェット市場の最新動向』	¥500,000	3/28	\$5,000	6/17	日 英	
* 2019年版[ローラー系部品マーケット総覧] (657頁) 『戦略転換が急務のローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/22	日 英	
* 2019年版[トナーマーケット総覧] (591頁) 『事業の健全性が問われるトナー業界の将来性』	¥600,000	8/27	\$6,000	10/18	日 英	
* 2019年版[サプライチェーンマーケット総覧] (315頁) 『激変する事務機業界のサプライチェーン』	¥200,000	11/14	\$2,000	2020年 1/17	日 英	
* 2019年版[MFPマーケット総覧] (807頁) 『成熟市場に挑戦し続ける事務機業界の展望』 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12	— —	—		
《 その他の刊行物 》						
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		